



(一社) 沖縄県労働基準協会
北部支部

支部長 **宮城 広明**

皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、名護労働基準監督署をはじめ、関係行政機関、協会本部、運営委員、そして会員の皆様の温かいご支援により、支部運営を滞りなく進めることができましたことを心より御礼申し上げます。

2025 年は、国際情勢の不安定化や技術革新の加速、国内では日本初の女性首相の誕生や大阪・関西万博の開催など、経済・社会において大きな変化がありました。こうした中、北部支部では「安全と健康」を軸に、安全管理推進大会や労働衛生管理推進大会、勤労者親睦ボウリング大会を開催し、地域性を踏まえた活動を展開しました。

本年は、SDGs の理念を踏まえ、持続可能な労働環境づくりと働き方改革に加え、ワーク・ライフ・バランスの実現と心身ともに健やかに働ける健康職場づくりを目指し、関係機関と連携し取り組んでまいります。



北部支部職員

なお、支部長に就任して半年、まだ課題も残っていますが、皆様のご意見を伺いながら一歩ずつ改善を進めてまいります。

最後に、皆様のご繁栄とご健勝、並びに各職場の無事故・無災害を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。



名護労働基準監督署

署長 **渋谷 雄太**

新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、会員の皆さまにおかれましては労働基準行政の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、7 月の大型テーマパーク開業により、周辺地域では住宅需要が急増し、共同住宅の新築工事が相次ぎました。また、労働力の移動が活発化したことで、人手不足が一層深刻化し、新たな雇用の募集を行っても十分な人材確保に至らないという声が多く聞かれました。その影響として、長時間労働が発生する事案も見られ、働く方々の健康確保に向けた対応が課題となっています。

労働災害の状況に目を向けますと、令和 5 年の名護署管内における休業 4 日以上の死傷者数は過去最多を記録し、昨年も 10 月末速報値で依然として高い水準にあります。業種別では建設業が増加傾向にある一方、その他の業種は概ね横ばいで推移しています。労働災害を減少へと転じさせるためには、あらゆる業種が一体となり、安全確保への取り組みを一層強化していくことが求



名護労働基準監督署職員

められています。

こうした状況を踏まえ、当署では長時間労働の懸念がある事業場への監督を重点的に実施するとともに、建設業や第 3 次産業を中心に、労働災害防止の呼びかけと指導に力を入れてまいりました。

昨年は、沖縄県労働基準協会北部支部の皆様には、安全推進大会や労働衛生推進大会の開催など、さまざまな場面で多大なるご尽力を賜りました。この場を借りて改めて深く感謝申し上げます。

新たな一年も、労働災害の減少という共通の目標に向け、皆様とともに安全で安心して働ける職場づくりを進めてまいりたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。